

介護人材雇用創出事業の実施について

1 主旨

介護人材不足への対応施策として、「介護人材雇用創出事業」を実施しているため、その事業内容及び現在の進捗等についてご報告するものです。

2 事業概要と主な狙い

人材に係る様々な角度からのアプローチを行う。

| 事業名 | 概要 | 狙い | 対象者 |
|-----------|--|--|-----------------------|
| 就労支援事業 | 初任者研修の修了及び事業所と連携した実地研修を経て、市内介護事業所とのマッチングにつなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新規就労者の獲得 ➢ 長期研修、有資格者の育成による一定の質の確保 ➢ 連帯感の醸成による離職リスクの低減 | 日野市内介護事業所に就労を希望する無資格者 |
| ウェビナー事業 | Web 上で介護事業所による合同説明会を実施。説明会後は、別途希望する介護事業所と Web 面接を行っていただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新規就労者の獲得 ➢ 主婦層等スキマ時間を生かせる人材をターゲット | 広く日野市内介護事業所に就労を希望する者 |
| 離職対策研修事業 | 感染症対策、ハラスメント対策など、離職原因となる職員の不安への対応について事業所向けの研修を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 各事業所の離職防止策の知識向上 | 市内介護事業所 |
| フォローアップ事業 | 令和 2 年度に実施した就労支援事業受講者について、就労・未就労を問わず集合研修を実施する。 未就労者については、希望に応じて再マッチングを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 就労後に感じた課題等を共有、消化することによるスキル向上 ● 就労者同士の連帯促進による離職インセンティブの低減 ● 未就労者の再マッチング | R2 年度就労支援事業参加者 |

3 現在の進捗

(1) 就労支援事業

16 名を採用し、研修を実施中

応募：33 名

採用者：平均 46.1 歳 男:女=6:10

カリキュラム：

| | | |
|-------|------------------|------------|
| 1 | 入校式・オリエンテーション | 12/1 |
| 2~4 | ビジネスマナー・基礎講座 | 12/2~6 |
| 5~9 | 介護職員初任者研修 | 12/8~15 |
| 10 | 就労支援・キャリアカウンセリング | 12/17 |
| 11~14 | 介護職員初任者研修 | 12/20~24 |
| 15 | 就労支援・キャリアカウンセリング | 12/27 |
| 16~22 | 介護職員初任者研修 | 12/29~1/17 |

| | | |
|-------|------------------|-------|
| 23 | 実習前研修・オリエンテーション | 1/18 |
| 24~29 | 職場実習 | (各施設) |
| 30 | 振り返り研修 | 2/4 |
| 31~37 | 職場実習 | (各施設) |
| 38 | 振り返り研修 | 2/21 |
| 39 | 追加研修 | 2/24 |
| 40 | 就労支援・キャリアカウンセリング | 2/25 |
| 41 | 修了式・オリエンテーション | 2/28 |

(2) ウェビナー事業

実施日：1月27日(木) 13:30~15:30
開催会場：多摩平交流センター及びWeb (Zoom)
事業者：4社
参加者：先着80名予定

(3) 離職対策研修事業

実施日：12月20日(月) 14:00~15:30
開催会場：日野市役所及びWeb (Zoom)
講師：株式会社 CoAct 渡嘉敷氏 (主任介護支援専門員、介護福祉士、防災士等)
内容：

- 感染症対策
 - 職員の心理的サポート
 - 職員間の円滑なコミュニケーション法
- ハラスメント対策
 - ハラスメントの定義と対応
 - 予防策とメンタルケア

(4) フォローアップ事業

実施日：11月1日(月) 9:00~12:00
開催場所：中央福祉センター
参加者：6名

4 委託契約概要

(1) 予算科目

一般会計
-民生費 -社会福祉費 -老人福祉費 -介護人材確保事業経費
-委託料 -施策事業委託料 (福祉・保険・医療)
-介護人材雇用創出業務委託料 24,851,000 円
(支出負担行為額) 24,750,000 円

(2) 委託業者

株式会社シグマスタッフ
※R2年度に実施した際と同事業者